



## 岩手医科大学歯学部だよりの発行にあたり

この度、我が歯学部の活動をより多くの方々にお伝えするため、「歯学部だより」を創刊する運びとなりました。記念すべき第1号をお届けできることを大変嬉しく思っております。早いもので歯学部長に就任してから約1年が経過します。私が学部長に就任してから現在歯学部で進行中および計画中の歯学部事業計画の柱は、①受験生増加・入学者確保、②歯学部教育改革推進、③歯科医療センター改革推進、④歯学部広報活動の活性化の大きく4つです。その中でも広報活動は新たな取り組みです。「歯学部がどのような教育や活動を行っているか全然見えてこない」「他大学ではこのような活動をしているよ。参考にしたら」などのご意見を多々戴いておりました。これまでも岩手医科大学歯学部では本学独自の様々な取り組みをしてきておりましたが、それを皆様に伝えるのが下手でした。歯学部の「今」をお伝えするために、まず、歯学部広報委員会を発足させ、委員長には黒瀬雅之教授に就任して戴きました。魅力ある歯学部の「今」をこれからSNSなどの様々な手法を使って皆様にお伝えしたいと思います。その活動の中の第一弾が「歯学部だより」です。本便りでは、歯学部の学生や教職員の取り組み、研究活動、最新の歯科医療に関する情報を皆さまにお届けしてまいります。私たちの目指す歯科医師の育成、地域社会への貢献、歯科医療の発展とは何かをお伝えすることで、皆さまとの繋がりを深め、歯学部をより身近に感じて戴く一助となれば幸いです。「歯学部だより」が、歯学部の活動を知っていただくための一つの窓口となり、皆さまからのご意見やご支援をいただける機会となることを心より願っております。今後とも、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本便りの発行にご尽力いただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。



歯学部長 小林 琢也

岩手医科大学歯学部の卒業生の先生方、在校生のご父兄の皆様、2024年4月より広報委員長を担当しております生理学講座病態生理学分野教授の黒瀬雅之です。なかなか伝わりにくい岩手医科大学歯学部の「今」をお伝えすることができるような歯学部だよりの作成を目指してまいります。OB・OGの先生方には懐かしさを、在校生のご父兄様には、御子息・ご息女が学ばれている環境を感じていただけるようなコンテンツを考えております。年に3回の発行の歯学部だよりを楽しんで頂けるよう願っております。今後ともどうぞよろしく申し上げます。



広報委員長 黒瀬 雅之



編集委員長を拝命いたしました口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野准教授の熊谷美保と申します。歯学部は大きく変わりつつあります。「今」をお伝えすることを目的に、教職員や学生さん、歯学部にかかわって下さる方々の声をお届けしたいと思います。また情報提供をするだけではなく、皆さまからのご意見を広く頂戴したいと考えております。この歯学部だよりが皆さまと歯学部をつなぐ一助になれば幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

編集委員長 熊谷 美保

# 令和6年度 岩手医科大学入学式が実施されました

令和6年4月10日（水）の午前10時より、盛岡市内丸にあるトーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）大ホールにて、令和6年度岩手医科大学入学式が実施されました。歯学部には1年生28名、2年生編入1名が入学され、歯学研究科には2名が入学されました。

## 臨床実習がスタートしました



佐々木 大輔 ライター長

第56期生臨床実習の総ライターを拝命しました歯周療法学分野の佐々木大輔と申します。新しい学年を岩手医科大学附属内丸メディカルセンター歯科医療センターに迎え、第4学年までの基礎実習を基に、臨床実習Ⅰとして4月15日から4月24日までは歯科医療センターの外来を覚えてもらうための前段実習を行い、5月1日からは臨床実習Ⅱとしていよいよ本格的な診療参加型臨床実習が始まりました。矢巾から内丸へと住居を移した学生も多く、また新たな学びの場に移ったことで戸惑いが見られる学生も少なくはありません。そのような学生をサポートしつつ、魅力ある歯科医師という職業を肌で感じてもらえるよう学生と共に歩んで参ります。3月までの長丁場となりますがどうぞよろしくお願いいたします。

## 医歯薬看の合同臨床実習が開催されました

歯学部長 小林 琢也



前段左から2人目佐藤万耶さん、3人目杉山莉佳子さん

多職種連携地域医療演習は、本学の特徴である学部の垣根を越えて学ぶ教育プログラムの1つです。本演習の特徴は、4学部合同の臨床実習で、実際の患者さん（筋萎縮性側索硬化症）に対してチーム医療を実践するところです。各学部からは2-4名の学生が参加して、5月に約1か月間にわたり8回の実習を行いました。実習に参加した佐藤万耶さんと杉山莉佳子さんの2人に実習の感想をお聞きしました。

**5年 佐藤 万耶さん：**他学部の学生と接することで、患者を視る視点が異なることを学び、多職種連携の強みを実感しました。将来的には、異なる専門職の専門性を理解し、互いに尊敬し合いながら、情報を共有できる関係を築いていきたいと考えています。

**5年 杉山 莉佳子さん：**他学部の学生と協議を重ね、実際に患者さんにお会いし、ケアを行なっている方々のお話を聞くという貴重な機会でした。それぞれの専門が個では成り立たないという、チーム医療のあり方を学ぶ第1歩となりました。全身疾患において、歯科医師ができることはあるのかと必死に考えると同時に、例えば不快感といった、患者さんの気持ちになって考えることが必要だと学ぶことができました。



令和6年4月20日(土)に矢巾キャンパスで開催された本セミナーは、本学の特徴である専門職連携教育の一環として、患者中心の医療を実践するため、医歯薬看護学部の学生がチームを作り、専門職の立場から指定症例の課題を解決していくものです。セミナーの最後にインフォームド・コンセントのデモンストレーションをします。歯学部の学生は、周術期口腔管理および摂食・嚥下に関する重要性が周知されてきていることから、多くの知識に基づいた積極的な発言が見られます。これは、疾患の病態、薬剤の作用、患者および家族の心理など、自ら問題を提起し、セミナー当日までに下調べをして臨んでいる効果です。歯学部では、医科学の講義を充実させていることが特徴の一つで、その成果がこの様な積極的な光景を見るものと考えます。将来歯科医師として仕事をする際のさらなる飛躍を期待し、講義に加えて本セミナーを積極的に活用しています。

## 第87回解剖体慰霊祭が実施されました

令和6年6月22日(土)、矢巾キャンパス大堀記念講堂にて第87回解剖体慰霊祭が挙行されました。これは歯学部の現在第3学年の学生が2023年度後期に実施した臨床解剖実習に献体制度を元に自身のお身体をご提供頂いた方、附属病院で亡くなられたあと病理検査にご協力頂いた方、そして医師、歯科医師が最新技術の習得のために実施するCSTにご協力頂いた方に対する慰霊の場となります。多数のご遺族の他に大学関係者と臨床解剖実習に参加した歯学部と医学部の学生が参列しました。第87回慰霊祭では、全学生を代表して「慰霊のことば」を歯学部3年飯淵友理さんが心のこもった、ご遺族の心にも響く感謝のことばとして述べてくれました。当日はこれに引き続きご遺族へのご遺骨の返還式と文部科学大臣からの感謝状伝達式が行われました。



慰霊のことばを述べる飯淵友理さん

## 学生カリキュラム委員会が開催されました



4年生を代表して意見を述べる今野日南子さん



学生の意見に回答する桑島幸紀チューター長

歯学部学生カリキュラム委員会が開催されました。1年に1回、各学年の代表者2名と、多くの教員が参加し、各学年からの要望を直接聞く機会を設けております。

**2年 三浦 慎太郎さん：**各学年の代表者が意見を交換し、教授と共に改善策を考える機会がありました。学生の意見が尊重される姿勢に感銘を受け、とても感謝しております。

**3年 照井 勇人さん：**変数と定数といった前提のもと、より良いカリキュラムを構築するために、興味深い意見が飛び交う有意義な会でした。今後も積極的に意見を出していきたいと思いました。

## 歯学部生の「今」

私が歯学部に入りはや二年半が過ぎようとしています。毎日が驚きの連続であつという間に1年が経過してしまいます。入学当初の私の歯科に対するイメージは口腔内に局限した修復治療をするものばかり思っていました。しかし、2年時の実習を含めた基礎科目の授業等を通して、人間の体のしくみ、病気や病態について学ぶことにより口腔が全身と深くかかわっていることを知り、歯科は単なる歯科ではなく歯科医療なのだ認識できたことは大きな収穫でした。このマインドを胸にこれから始まっていく臨床科目の実習や授業に真剣に取り組んでいくつもりです。そしてこのキャンパスでできた仲間たちと切磋琢磨し絶対的な技術力、患者さんやスタッフに信頼される一流の歯科医師を目指そうと思います。

### 3年生 佐藤 菜々香さん



左から佐藤和、佐藤菜々香（筆者）、笹森柚月

私が岩手医科大学に入学してから約1年半が経ちました。私は現在、弓道部に所属しています。入学当初、入部は考えておらず、弓道がどんな競技かもよく知りませんでした。しかし友人に誘ってもらい部活に入ったおかげで、たくさんの人と関わることができました。2年生の生活は1年生の頃よりもずっと忙しく、試験に追われる日々ですが、いつも友人に支えてもらいながら一生懸命勉強しています。また、大学生になってからアルバイトを始めて、以前よりも人と話せるようになったと感じます。これからも時間を大切にして大学生活を楽しんでいきたいです。

### 2年生 向井田 千聖さん



前段右から1人目 向井田千聖（筆者）

## 部活動の紹介

### 準硬式野球部

現在プレイヤー19人、マネージャー7人の計26人で活動しており、8月に行われる全日本歯科学学生総合体育大会で優勝することを目標にしています。なかでも、今年のチームは4年生が8名と多く、4年生を中心としたチームです。また、上級生と下級生の仲も良く、部活中の良い雰囲気が見られ、教室や休日など部活以外の時間でも接する時間が多いです。現在のチームは仲が良いのに加え、野球経験者も多く在籍しており、今年5月に奥羽大学、東北大学、岩手医科大学、北海道大学の4校で行われた東北デンタルでは、3勝1敗と好成績を残すことができました。また、練習試合でも負けることが少なくなり、チームの状態も上がってきています。7月には合宿も行われるのでチームの仲をさらに深め、8月の大会で良い成績を残せるように頑張りたいと思います。



# 全歯体・北医体で好成績を残した学生さん紹介

歯学部学生の中で全歯体と北医体で活躍された学生さんを紹介します。今回は、全歯体で活躍された吉田匠吾君と吉田朱里さん、北医体で活躍された明本和丸君です。



大回転競技に参加する筆者（吉田正吾）

## 3年生 吉田 朱里さん

今年度の全歯体スキー部門では、大回転競技で優勝を果たし、数十年ぶりの総合優勝に貢献することが出来ました。幼少期からアルペンスキーを続けてきたことや周りのサポートがなければ得られなかった結果と考えているため、感謝を忘れずにいたいです。また、私は部活動だけでなく学業にも力を入れています。今、上位にある学内順位を維持していきたいです。文武両道貫けるようにこれからもより一層の努力をしていきます。



大回転競技に参加する筆者（吉田朱里）

## 3年生 明本 和丸君

第47回北日本医科学生硬式庭球大会に出場しました。大会当日は会場の雰囲気は熱気に溢れ、多くの医療系大学生の真剣な表情が印象的でした。大会に向けた練習が実を結び、岩手医科大学は15年ぶりの優勝という快挙を達成することができ、喜びと感動で胸がいっぱいになりました。支えてくれた部員や応援してくださったOBの先生方に心から感謝致します。この大会で得た経験と感謝の気持ちを胸に、これからも努力を続け、さらに成長していきたいと思ひます。



優勝の瞬間の筆者（左）（明本和丸）

**ちょっとピック：矢巾町で国際大会??があるのをご存知ですか??**

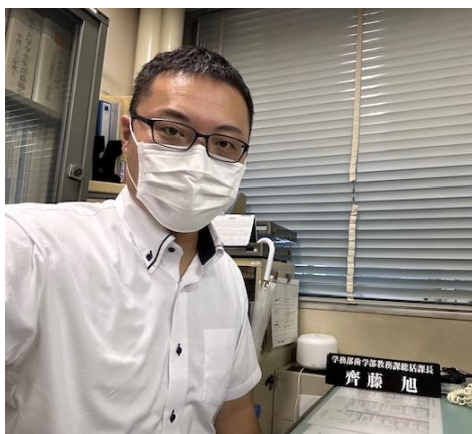
ちゃぶ台がえしの世界大会が毎年6月に開催されています。ちゃぶ台の上に乗っているサンマの玩具がどこまで飛ぶ?で距離で競うそうです。文句を言いながら、ちゃぶ台をかえすと距離が伸びるとか。ストレスが溜まってる方は、是非に矢巾へ。

令和6年7月1日から、薬理学講座病態制御学分野の教授を務めております中村正帆（なかむらただほ）と申します。私は宮城県仙台市で生まれ、山形大学医学部を卒業後、千葉県鴨川市の亀田総合病院に麻酔科医として勤務しました。その後、東北大学と東北医科薬科大学の医学部で薬理学の研究と教育に従事し、本学に着任しました。睡眠覚醒の制御機構や全身麻酔薬の作用機序に強い関心をもっており、ヒスタミン神経系を中心とした神経薬理学の研究に取り組んでおります。また、麻酔科での臨床業務から薬物治療の重要性を痛感させられたため、薬物治療の実践につながる薬理学教育を展開すべく、ロールプレイなどのアクティブラーニングを積極的に取り入れてまいりました。学部生と大学院生の皆様が、診療や研究に必要な能力を獲得できるような教育と研究に尽力し、本学歯学部的发展に誠心誠意貢献してまいりますので、厚いご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 歯学部を支えてくださる人たち

歯学部教務課総括課長 齊藤 旭



歯学部教務課は、内丸・矢巾の2拠点に事務室を置いています。学生の皆さんにとっての教務課は、事務室の窓口や、ガイダンス、試験などで顔を合わせる程度のもかもしれませんが、裏側では、講義や試験などの手配や準備、成績の管理はもちろんのこと、歯学部以外の学部との連携調整や、内丸では建物・設備の管理なども担っており、先生方を始め、関係各所と日々連携しながら業務を行っています。教務課は事務職ではありますが、こうして身近に見てきた学生の皆さんが卒業し、国家試験に合格するということは、教員の先生方にも引けを取らないほどの喜びでもあります。歯学部教務課一同、これからも学生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 令和6年度歯学部学業奨励奨学金奨学生が表彰されました

歯学部では、当該年度の学業成績及び人物とも優秀な者を奨学生とし、奨学金を給付しております。

第2学年；及川 大輝君、吉田 翔君、津嶋 彩乃さん、三浦 慎太郎君  
 第3学年；田中 悠斗君、明本 和丸君、飯淵 友理さん、吉田 朱里さん、澤田 浩志君  
 第4学年；今野 日南子さん、桑原 琢行君、蛇口 景君、武蔵 全君、佐柄 匡紀君  
 第5学年；杉山 莉佳子さん、柳町 智也君、佐藤 万耶さん、吉田 美卯さん、坂本 亜弥さん  
 第6学年；横内 うららさん、小原 康輔君、瀬田 滯幸君、羽金 雅登君、館花 芙由香さん でした。

### 編集後記：編集委員 加藤 哲也

はじめまして、編集委員を拝命いたしました生理学講座病態生理学分野助教の加藤哲也と申します。歯学部だよりの創刊号はいかがでしたか。昨年のオープンキャンパスで、OBの先生より「全然知らない学校になったような気がする」とお話しされたことがあります。歯部部の「今」をお伝え出来ないかと考えていたところで、ちょうど良いタイミングでの歯学部だよりの創刊号です。OB・OGの先生方におかれましては、キャンパスは変わっても6年間を過ごした学び舎に思いを馳せて、在校生のご父兄様におかれましては、在校生の息吹きを感じ取っていただければ幸いです。充実した紙面をお届けいたしますので、今後ともご期待頂ければと思います。

発行：岩手医科大学歯学部 編集：広報委員会

本誌に関するご意見・ご要望はkouhou-d@iwate-med.ac.jp まで  
 写真は執筆者各位の提供により掲載をしております。



Follow me!



@IMU\_DENTISTRY